

祝 第 69 回卒業証書授与式

～ 支え合った 118 名 西ノ京からの旅立ち ～

3月 15 日(木)、過去に経験のないくらい暖かく穏やかな天候の中、平成 29 年度西ノ京中学校第 69 回卒業証書授与式を多数のご来賓をお迎えして挙行了しました。本当に心温まる素敵な卒業式であったと思います。これまでの 3 年間の思いが涙とともに溢れそうになるのを懸命にこらえながらよんでくれた答辞。すすり泣きの声が聞かれる中で美しく歌い上げてくれた「旅立ちの日に」合唱。そして何よりも、このしめくくりの日に全員がそろったこと。本当にみんなの記憶に残るいい学年でした！

ここに、学校長式辞を掲載して、式の報告といたします。

式辞

厳しい寒さを感じさせた冬も峠を過ぎ、新たな希望と飛躍への期待を秘めた春の息吹が感じられるこの佳き日に、多数のご来賓、保護者の皆様のご臨席を賜り、第 69 回卒業証書授与式を、このように盛大に挙行できますことに厚くお礼申し上げます。

卒業生の皆さん。ご卒業おめでとうございます。ただ今、卒業する 118 名の皆さんに卒業証書をお渡ししました。これをもって皆さんの中学校 3 年間、そして義務教育 9 年間の全課程が修了いたしました。皆さんの今日の喜びと感激は、皆さん自身のたゆまぬ努力もさることながら、保護者や家族の方々の温かい育みなしには、到底果たしえなかったことを忘れることなく、今改めて、これらの人々に感謝の気持ちを持ってもらいたいと思います。

ところで、『一期一会』ともいふべき出会いであった皆さんとは、たった一年の付き合いでしたが、私の心に深く刻まれた一年でした。皆さんは覚えているでしょうか。昨年 4 月、全く縁のなかったこの西ノ京中学校に着任し、最初に目に入ったのが正門から見える本校の校章でした。この校章を一瞬で好きになった私は、そのデザインから「しなやか」という言葉と「宇宙に浮かぶ銀河系の姿」をイメージし、西ノ京中学校の生徒が「しなやかさ」を身に付け、一つ一つの星が輝き、大きなエネルギーの渦となっていくような「活気」のある集団に育てほしいと、始業式でお話しし、それを聞いてくれていたのが、3 年生になったばかりの皆さんでした。その数日後、入学した新入生との対面式で歌ってくれた 3 年生の合唱。表情豊かな指揮者に合わせて歌い上げるその姿に、皆さんの秘めた力を感じました。

また、皆さんはことあるごとに円陣を組みました。修学旅行の結団式で、合唱コンクールの最後の練習を終えて、肩を組み合い、絆を確かめながら全力で掛け声を出して円陣を組みました。円陣には、集団を動かす不思議な力があります。そんな力も利用して、学習に、部活動に、そして生徒会活動によく努力し、本校の伝統と校風を高めてくれました。最上級生となったこの一年だけをとってみても、一人ひとりが平和宣言に取り組み、また、自然の雄大さに感動した九州・壱岐への修学旅行。「～Fly High, So High～ 高く、もっと高く、飛び立とう」をスローガンに繰り広げた学校祭。鑑賞する 1・2 年生や保護者・教職員も圧倒する、レベルの高い合唱コンクール、「炎 ～突き進め西ノ京のみち～」をスローガンに地道に、そしていつも笑顔を忘れず取り組んだ生徒会活動など、皆さんがリーダーシップを発揮し活躍したシーンが次々と浮かんできます。

今思えば、始業式で皆さんに校章のイメージについてお話をしたのは、偶然ではなかったように思います。皆さんは 69 期生。この「69」という数字の形は、向きこそ違え、私が愛する西ノ京中学校の校章デザインと同じ形です。まさしく私が求める生徒像が皆さんであることに私は気づきました。卒業生の皆さん。皆さんが在学





中にこの西ノ京中学校でその姿をもって自ら具体化してくれた新たな生徒像は、在校生が本校の伝統としてしっかり受け継ぎ、さらに発展させてくれるでしょう。それを見守ってください。

そして、皆さんはこれからまた前を向いて、新しい道を歩み始めます。その道の先にある未来はどうなっているのでしょうか。ここに2030年問題というものがあります。2030年というと、皆さんの多くはすでに社会人としてしっかり働いている頃ですが、この頃には少子高齢化がさらに進み、AI：人工知能の発達など、急速な情報化や技術革新で大きな社会的変化がもたらされるといわれています。「今の子どもたちの65%は将来、今は存在しない職業に就く」「今の半数近くの仕事が自動化される可能性がある」などの未来予測がある中で、将来の変化を予測することが困難な時代に突入します。そんな時代を生き抜くために何が必要か。それは、人間本来の知恵と力を身に付けることです。自然科学者ダーウィンは進化論で次のように述べています。「生き残る種とは、最も強い種ではない。また、最も知的な種が生き残るのでもない。生き残るのは、変化に最もよく

く適応したものである。」人間は、誠実に、ひたむきに学び続ける力と、優しさ、思いやりをもって他者とつながり、協働する力で、様々な変化に対してしなやかに適応し、生き抜いてきました。卒業生の皆さん、皆さんが人間力ともいべきこの力を大切にして、変化に対して受け身でなく、主体的に向き合い、一人ひとりが自らの可能性を最大限に発揮して、よりよい社会と幸福な人生を自ら創り出していくことを期待しています。

最後になりましたが、ご列席の保護者の皆様。お子さまのご卒業、誠におめでとうございます。三年間にわたり皆様のかげがえのないお子様をお預かりし、われわれ教職員一同、精一杯努力を重ねてまいりました。中には至らぬ点もあり、ご心配をおかけしたこともあったかと存じますが、本校の教育活動に賜りました温かいご理解とご協力に、心より感謝申し上げます。本日卒業していく生徒たちのこれからの成長と、私たちの西ノ京中学校の発展に対して、ご臨席いただきましたご来賓の皆様ともども、さらなるご支援を賜りますようお願い申し上げます。

それでは、卒業生の皆さん。最後にアメリカの詩人ロングフェローのこの言葉を贈りたいと思います。

「雲の後ろでは、太陽がいつも輝いている。」

どんなに厚い雲があったとしても、その向こうでは必ずいつも太陽が燦々と輝いています。これからの人生、様々な課題に直面した時、この言葉を思い出し、太陽を信じて歩いていってください。これを贈る言葉として私の式辞といたします。

平成30年3月15日 京都市立西ノ京中学校長 内田 隆寿

お知らせ

●離任式 3/30(金) 集合 9:00 開式 9:15

離任教職員の発表は、3/23(金)12:00以降に、校内掲示板・学校ホームページで発表します。

●始業日 4/ 6(金) 登校 8:30 クラス発表・始業式

※ 学校だより『西ノ京』も、これが今年度最終号です。この1年間、どうもありがとうございました。

